

連続講座

120th ANNIVERSARY



CITY OF
KYOTO

HAPS



KYOTO SEIKA UNIV
50th ANNIVERSARY

平成30年度

文化庁 大学における
文化芸術推進事業



共生社会 実現のための アーツマネジメント入門

2018年7月12日 [木]—11月29日 [木]

キャンパスプラザ京都/ウイングス京都/京都芸術センター

あかたちかこ/雨森 信/久保田翠/白川昌生/鷹野隆大/
中川 眞/樋口貞幸/三輪晃義/森 合音/山田創平/吉澤弥生

京都市では、文化芸術の力で社会的課題の緩和・解決に取り組む多くの活動事例を踏まえ、文化芸術と社会課題をつなぎ、コーディネートするための人材育成や、文化芸術の取組に着手しようとする際の相談窓口の設置など、文化芸術による共生社会を実現するための取組として、「文化芸術による共生社会実現のための基盤づくり事業」を実施しています。この度、「共生社会実現のためのアーツマネジメント入門」と題した連続講座を開講します。

アーツマネジメントとは美術館、劇場、コンサートホールなどの文化施設を拠点として、アート（アーティスト）と社会を効果的につないでゆく仕事のことですが、本講座では、高齢者施設をはじめとする福祉施設、病院、被災地などといった、これまでアートとは疎遠とわられてきた場所でのアーツマネジメントに焦点を当てて紹介します。社会的課題や不利益といった困難さと向き合い、社会とのつながりを再構築していくことから、社会包摂型アーツマネジメントとも呼ばれています。多様な状況や属性をもった人々が、ともに自由で幸せな生活を送ることのできる共生社会の実現をめざすために、アートはどのような役割を果たし得るでしょうか。本講座は、そのための基礎知識や手法について、一線で活躍する実践家、研究者によって分かりやすくお伝えします。アートにとって未知の領域がここに拓けようとしています。アートを通して現代的な課題に向き合う仕事を垣間見ませんか？こういった仕事を始めようとしている方、アートを学んでいる方、コミュニティワークの好きな方、福祉現場でのアートの実践に興味のある方におすすめです。 中川 眞 | 本事業ディレクター

主催=京都市 共催=京都精華大学「LGBTQをはじめとするマイノリティの社会包摂を視野に入れたアートマネジメント・プロフェッショナル育成事業」
平成30年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業、京都芸術センター[第5・7回] 企画・制作=東山 アーティスト・プレイスメント・サービス(HAPS)

アーツマネジメント

— 社会と関わる現場をつくる

第1回 日時=7月12日(木) 19:00-21:00
 会場=キャンパスプラザ京都 4階 第3講義室
 講師=雨森信 定員=90名

アートと社会包摂

— アートの役割

第2回 日時=7月19日(木) 19:00-21:00
 会場=キャンパスプラザ京都 4階 第4講義室
 講師=中川真 定員=90名

芸術実践と人権

— マイノリティ、公平性、合意について

第3回 日程=8月25日(土)
 会場=ウイングス京都 2階 セミナー室

概論 時間=13:30-14:45

講師=山田創平 定員=100名

対談 時間=15:00-16:30

講師=鷹野隆大、あかたちかこ、山田創平
 定員=100名

ホスピタル・アートの現在

第5回 日時=10月11日(木) 19:00-21:00
 会場=京都芸術センター ミーティングルーム2
 講師=森合音 定員=40名

フォーラム:芸術と労働

第6回 日時=11月23日(金・祝)(予定)
 登壇=白川昌生、三輪晃義、吉澤弥生
 司会=樋口貞幸
 ※時間、会場等の詳細は
 後日ウェブサイト等でお知らせします

表現未満

— 都市変革のオルタナティブ

第7回 日時=11月29日(木) 19:00-21:00
 会場=京都芸術センター ミーティングルーム2
 講師=久保田翠 定員=40名

(第3・4・6回については京都精華大学と共同開講)

全て参加費無料

【申込方法】

東山アーティスト・
 プレイメント・サービス(HAPS)

申込フォーム=
haps-kyoto.com/am-form

Eメール=
info@haps-kyoto.com

FAX= 075-525-7522

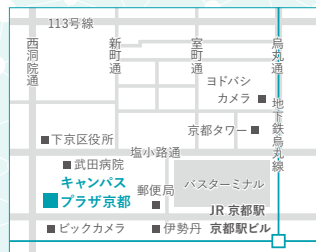
TEL= 075-525-7525

※HAPSのウェブサイト内の申込フォーム、
 Eメール、FAX、電話、いずれかの方法により
 お申込みください。なお、お申込みされる
 際は、①受講希望の講座、②氏名(ふ
 りがな)、③電話番号、④メールアドレス、
 ⑤年齢、⑥受講動機をお知らせください。

【アクセス】

キャンパスプラザ京都

京都市下京区西洞院通塩小路下る
 東塩小路町939
地下鉄/近鉄/JR「京都」駅下車、
 徒歩5分



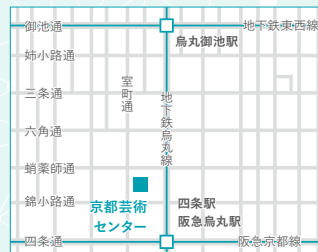
ウイングス京都

京都市中京区
 東洞院通六角下る御射山町262
地下鉄「烏丸御池」駅下車、
 5番出口より徒歩約5分
地下鉄「四条」駅、阪急「烏丸」駅下車、
 20番出口より徒歩約5分



京都芸術センター

京都市中京区
 室町蛸薬師下る
地下鉄「四条駅」、阪急京都線「烏丸駅」
 下車、22・24番出口より徒歩5分
地下鉄「烏丸御池駅」下車、
 4番出口より徒歩10分



あかたちかこ

思春期アドバイザー/大阪人間科学大学非常勤講師

専門は対人援助学と性教育。エイズカウンセラーとして
 現場に関わりながら、児童自立支援施設や全国の中学
 校高校で教えている。共著書に『たかたかLGBT&アート』
 (法律文化社)。Woman's Diary元編集長。本プロジェ
 クトではゼミを担当する。

雨森信 | あめのもりのぶ

Breaker Project ディレクター

2003年より大阪市文化事業の一貫として「Breaker
 Project」を始動、長期に渡る地域密着型のアートプロ
 ジェクトに取り組むほか、「水都大阪2009」「BEPPU
 PROJECT2010」「札幌国際芸術祭2017」などで、キュ
 レーションやマネジメントを担う。地域に根ざしたアート
 の実践を通して、独自の表現手法を開拓するアーティスト
 とともに新たな表現領域を探索するとともに、現代に
 おけるアートの役割について再考する。

久保田翠 | くぼたみどり

認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ代表理事/
 障害福祉施設アルス・ノヴァ施設長

武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業後、東京藝術大
 学大学院美術研究科デザイン専攻修了。重度の障害のある
 長男の誕生を機に2000年クリエイティブサポートレッツ
 設立。2008年「たけし文化センター」事業を開始。2010
 年障害福祉施設アルス・ノヴァ設立。2016年より個人の
 生活文化を支援する「表現未満」プロジェクトを開始。
 平成29年芸術選奨芸術文部科学大臣新人賞受賞。法人
 設立以来、アートを通じた社会的包摂に取り組んでいる。

白川昌生 | しらかわよしお

美術家

1970年代にフランスおよびドイツで哲学と美術を学ぶ。
 1983年に帰国し、1993年に地域とアートをつなぐ美術
 活動団体「場所・群馬」を創設。美術家としての活動の他
 に評論執筆活動も盛んに行う。2018年3月、白川昌生+
 杉田敦・編「芸術と労働」(水声社)を刊行。

鷹野隆大 | たかのりゅうだい

写真家

2006年にセクシュアリティをテーマにした写真集「IN MY
 ROOM」(蒼穹舎)で第31回木村伊兵衛写真賞を受賞。
 「性」「都市」「近代」を題材に、社会を規定する無意識
 の枠組みや制度化された視角を問う作品を発表している。
 今年6月、「Queer」Asia Conferenceの展覧会「Bodies
 X Borders」(SOAS、ロンドン)に参加。

中川真 | なかがわしん

大阪市立大学特任教授

アーツマネジメント、アジアの民族音楽、サウンドスケ
 ープを研究。著書に『アートの力』『これからのアートマ
 ネジメント』など。サントリー学芸賞、京都音楽賞、小泉文
 夫音楽賞、京都府文化賞、日本都市計画協会賞特別
 賞(共同)などを受賞。大阪市立大学特任教授。インドネ
 シア芸術大学、チュラロンコン大学(タイ)の客員教授も
 務める。アートミーツケア学会副会長。

樋口貞幸 | ひぐちさだゆき

アート・アドミニストレーター/オフィス・へなちよこ主宰

アートスペース、民間小劇場、アートNPOの中間支援団
 体の事務局勤務を経て現職。現在もフリーランスの立場でア
 トプロジェクトの事務局やNPOの監査を務める。(公財)
 沖縄県文化振興会(沖縄アーツカウンシル)チーフプログ
 ラムオフィサー(非常勤)。

三輪晃義 | みわあきよし

弁護士

のぞみ共同法律事務所にて執務。主な取扱い分野は労働
 事件・民事事件。日本弁護士連合会・LGBTの権利に関す
 るPT、LGBT支援法律家ネットワーク、大阪労働者弁護団、
 連合大阪法曹団に所属し、LGBTや労働問題に関する活
 動を行っている。

森合音 | もりあいね

四国こどもとおとなの医療センターホスピタルアートディレクター/
 写真家/NPOアーツプロジェクト代表

2009年独立行政法人国立病院機構香川小児病院で
 の壁画制作をきっかけにアートディレクター(非常勤職員)
 として同病院勤務。四国こどもとおとなの医療センター
 建設時、メインアートディレクターとしてアートプロジェ
 クトに関わる。

山田創平 | やまだ そうへい

社会学者/京都精華大学准教授

厚生労働省・外務省所管の研究機関などをを経て現職。
 編著書に『たかたかLGBT&アート』(法律文化社)、共
 著書に『ミルフィユ04-今日のつくり方』(赤々舎)など。ア
 トNPOリンク理事、HAPS実行委員、企業メセナ協議会
 東日本大震災芸術・文化による復興支援ファンド選考委員。

吉澤弥生 | よしざわ やよい

共立女子大学文芸学部教授/NPO法人地域文化に関する情報
 とプロジェクト(recip)理事/NPO法人アートNPOリンク理事

専門は芸術社会学。『芸術と労働』(水声社)に「ア
 トマネジメントと、非物質的労働の価値」を寄稿。近著に「芸
 術生産の現場から考える一労働・キャリア・マネジメント」
 (藤井光との対談)『社会の芸術/芸術という社会』(フ
 ィールドアート社)他。